

yamabuki 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 7 4
平成 19 年 11 月 1 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

上書き保存

こういう笑えない話があります。

『ある人が、自分の記録をフロッピーディスクに表の形(ファイル)で積み上げていました。フロッピーディスクは二つあって、どちらも同じファイル名の表が入っていましたが、一方は空っぽでした。ある時、記録を追加しようとして、空っぽの表のフロッピーディスクからファイルを開きました。この人は、「上書き保存」というのは、新しく書き込んだ部分だけを「追加」保存する機能だと思っていて、空っぽの表に新しい記録を書き込んで、フロッピーディスクを入れ替えて「上書き保存」しました。つまり、それまでの記録に、新しく書いた部分を書き足したつもりだったのです。次にこのファイルを開いて初めて、「上書き保存」の意味が理解できたそうです。』

「上書き保存」は、英語の **overwrite** を訳したもので、「上書き」と言うよりはむしろ「置き換え保存」とでも言えばいいでしょうか、元あったファイルの場所に、同じ名前で別のファイルをしまうことです。「同じファイル名」というだけで、何もチェックしません。

上の例のように、「元あった場所」とはいえ、パソコンから見れば、フロッピーディスクという入れ場所は一つだけで、ディスクそのものが入れ替わっているかどうかには無頓着です。

また、置き換えとは言うものの、作業としては、新しいファイルを書き込んでから古いファイルを削除する、という手順を踏むので、ファイルの大きさがその場所の空き容量を超えていると、「上書き保存」できません。

今は、フロッピーディスクのように小容量のものを使うことは少なくなりましたが、この手順は覚えておくと役に立つかもしれません。

パソコンで作業していて、突然パソコンが止まってしまったり(フリーズ)、アプリケーションが閉じてしまう(異常終了)ことは、珍しいことではありません。そのとき、もし作業途中なら、せっかくのそれまでの作業が消えてしまうかもしれません。() そうならないために、ここまでやったというタイミングで「上書き保存」しましょう。また、席を離れるときはアプリケーションを閉じるのが一番いいのですが、せめて「上書き保存」してから席を立つようにしましょう。いない間に何が起るかわかりません。上書き保存のショートカットキーは、**Ctrl + S**(つまりセーブ、Save)です。

アプリケーションによっては、自分自身の異常終了時に、作業中の状態をどこかに保存しておく機能が働くことがあります。これが使えるのは、直後にアプリケーションを起動したときに限る場合が多いので、異常終了したときは、すぐに起動し直して復元を試みることも大切です。また、バックアップファイルといって、「上書き保存」したときにそれまでにあったファイルを別名で保存してくれるアプリケーションもあります。これも上手に活用しましょう。